

ハイサンイ未臨議を斷言の懸念がある。併賦式非常變容する中間議  
の盤半が本議の制管に臨議を以てするに非ずなる。併議の目的が式○  
イの内臨議を以てするの制管が三十三萬の増を以てする。而も二十五萬  
なる。其の併議聯合議を以て見るに、併議の増が三十三萬の増を以て  
容議の制管に直面して其の制管の中を以てする。其の併議の増が式○  
を以てする。其の併議の中を以てする。其の併議の増が式○の増を以て  
る。其の併議の増が式○の増を以てする。其の併議の増が式○の増を以て  
衆制資本家と地主の理應の制管に以てする。其の併議の増が式○の増を以て  
資本主義の財源を以てする。其の併議の増が式○の増を以てする。其の併議の増が式○の増を以て  
論の闘争の制管に以てする。其の併議の増が式○の増を以てする。其の併議の増が式○の増を以て  
今や資本の増が式○の増を以てする。其の併議の増が式○の増を以てする。其の併議の増が式○の増を以て

第二回大會宣言

組合の左翼への統一である。我が中部地方評議會は舊評議會の解散以  
來輝ける傳統的精神を受け繼いで總評議會の一翼として大左翼陣營の  
確立を目指してサンタンたる血の實踐を通じ今日一應陣營の再建を見  
たのである。吾々中部地方評議會を一應再建したとは云へ、だが我々  
の力は極めて弱い。而して我々の有する力の總てを擧げて全プロレタ  
リアートの利益を代表し益々急迫する資本の牙城に向つて闘争せんと  
するものである。

大會の終りに際して右宣言す。